

大津町家めぐり

大津百町は、江戸時代の町割が色濃く残っていますが、昭和初期に実施された通りの側溝を移動させる大工事により、通りに面していた大津町家は建物の表部分を撤去する「軒切り」の憂き目に遭いました。

でもじっくり見るとあちこちに大津町家が残っています。

さあ、マップを手に、大津町家をじっくり見て、その魅力に触れてみませんか？

What's?

おおつひやくちょう
大津百町とは



京都方面から旧東海道の追分を東へ、逢坂山峠を越えて琵琶湖に向かって東西に広がるエリアを「大津百町」といいます。

大津百町の始まりは、安土桃山時代の天正14年(1586)頃に琵琶湖岸に大津城が築城され、城下町が誕生した頃まで遡ります。その後、江戸時代は琵琶湖水運の港町、東海道五十三次の宿場町、園城寺(三井寺)の門前町として栄え、人口密度の高い町が形成されました。江戸時代中期には町数が百ヶ町以上あったことから、その繁栄を表し「大津百町」と呼ばれるまでに発展しました。戦前までに建てられた伝統的な建築物や、隣接する京都の町家の影響を受けた大津町家など、歴史的な文化資源が現在も各所に残っている魅力的なエリアです。

制作

大津市中心市街地活性化協議会
まちなかガイドプロジェクト会議

お問い合わせ

(株)まちなか大津
滋賀県大津市浜大津一丁目4番1号 旧大津公会堂2階
[TEL] 077-523-5010



Let's try!

他にも様々なコースがあります

これまで開催して好評いただいた「大津まちあるき」を、ガイドなしでも楽しめるマップとしてまとめています。ぜひ他のコースも巡ってみてください。
※まちあるきは自動車などに十分注意してください。

- 大津絵を探す・見る・食べる
- 大津の歴史と女性たち
- 大津百町でご朱印めぐり
- 江戸に帰って大津を歩く
- 大津に鉄道がやってきた頃
- まちなか歴史遺産散歩
- 大津町家めぐり
- 湖岸歴史散歩

2017.9 発行



START

JR大津駅

大津町家めぐり

コースのおすすめ順路と見どころのご紹介

大津町家研究家をご紹介します!



7分

てんそんじんじゃ
① 天孫神社

春は境内を覆い尽くす桜がとて幻想的です。9月16日から始まる例祭「大津祭」のクライマックスは、13基の曳山が巡行される本祭(10月体育の日の前日)。曳山巡行の日、大津町家はハレの装いにかわり、2階から家人たちが曳山の巡行や精巧なからくりの披露「所望」を眺めて楽しめます。本殿には13基の曳山の写真が掲げられています。

2分

登録有形文化財

おがわけじゅうたく
② 小川家住宅

江戸末期に建てられた小規模の大津町家ですが、昭和初期、表は軒切りされ、屋根をかさ上げしています。その証しが隣の駐車場から建物を見ると東の外壁面に残っています。荒神さん(おくどさんの神様)、おくどさん(かまど)、井戸、そして火袋(吹き抜け)が残るトオリニワが印象的です。
※公開施設ではありませんが、家人が在宅時、内部を見させていただくことができます。

2分

登録有形文化財

おおつうちゅう
③ 大津魚忠

明治38年(1905)、呉服商中野家の住居として建てられた大津町家で、横井勝治郎棟梁が手がけました。現在は料亭となり、食事を味わいながら内部を楽しむことができます。必見は証目普請であること。洗練された座敷や小川治兵衛が手がけた庭を堪能できます。
※[営業時間]
11:30-15:00 (L.O. 14:00)
17:00-22:30 (L.O. 19:00)
[休日] 水曜
[TEL] 077-522-4428

3分

登録有形文化財

きたがわけじゅうたく
④ 北川家住宅

東半分(正面から見て左)は江戸末期に建築され、明治20年頃に西(右)の土地を購入、横井勝治郎棟梁が増築を手がけ、昭和初期には軒切りして今の外観になりました。間口の大きな大津町家です。2階左に見える青銅色の虫籠窓、右手1階の出格子の裾を覆う犬矢来、幅広の空目(もくめ)の美しい杉板、何もかもが洗練された材料と意匠で印象的です。
※内部非公開

3分

まちなか
⑤ 大津百町館

唯一、内部を見学できる大津町家です。明治32年(1899)の棟札が発見され、呉服屋を商っていた今井辰次郎が太田嘉七棟梁に注文したことがわかりました。見どころは昭和初期に曳山家をしてまで残した大広間。また、先代建物にあった古い瓦が展示されています。
※[開館時間] 10:00-16:00
[休館日] 月曜、お盆、年末年始
[TEL] 077-527-3636
(大津の町家を考える会)

GOAL

大津百町まちあるきMAP

大津町家めぐり

コース

凡例

- 百町の国登録有形文化財
- 百町の近代建築物
- 百町の景観重要広告物
- 百町の展示施設
- 百町の見どころ
- 交差点名
- 旧町名
- 通り名
- 公共駐車場(有料)
- インフォメーション

おすすめのお宿

全室5室の小さな大津町家のお宿。かつて米穀商が住んでいた粋なたずまい。ぜひ、お泊まり下さい。

昔、浜通りは琵琶湖岸に近く、蔵屋敷が建ち並んでいたといえます。それを彷彿とさせる大津町家です。



おすすめのよりみちスポットのご紹介

ちよっとよりみち A 大津祭 西行桜狸山由来の石碑

鍛冶屋町(かじやちょう)自治会館の前に、大津祭の起源を説明した石碑があります。鍛冶屋町は西行桜狸山(さいぎょうざくらたぬきやま)という曳山を持つ曳山町で、大津祭の発祥に深く関わっています。いつ頃から曳山が現れたのかここで知ることができます。

ちよっとよりみち B 大津事件の碑

明治24年(1891)、来日したロシア皇太子ニコライが、警備中の巡查津田三蔵に斬りつけられた事件が起こった付近に建つ石碑です。事件後、多くの人が見物に来たことから、地主が「此附近露國皇太子遭難之地」と刻んだ石碑を建てたと伝わります。

ちよっとよりみち C 和菓子屋さん

大津百町には多くの和菓子屋さんがあり、お茶請けからご挨拶の手土産と、まちの人たちは使い分けています。このまちあるき道中には、順に「餅兵」「鶴里堂」「光風堂菓舗」があり、いずれも地元で愛されている和菓子屋さんです。どうぞ、お立ち寄り下さい。

- info
- ◆餅兵 大津市中央2丁目5-37
[営業時間] 9:00-18:30 [定休日] 月曜
[TEL] 077-522-7356
 - ◆鶴里堂 大津市京町1丁目2-18
[営業時間] 9:00-18:00 [定休日] 日曜
[TEL] 077-523-2662
 - ◆光風堂菓舗 大津市中央1丁目4-19
[営業時間] 9:30-18:30 [定休日] 日曜
[TEL] 077-522-2343

ちよっとよりみち D 大津祭曳山展示館

大津祭を紹介する展示館です。館内では原寸大の曳山模型を中心に、町並みの様子を再現。お囃子の音響、照明、スライド投影により、お祭りムードが味わえるようになっています。また、大津祭の特徴の一つであるからくりなども映像によって提供しています。



- info
- 大津市中央1丁目2-27
[開館時間] 9:00-18:00 (最終入館17:30)
[休館日] 月曜(祝日の場合翌日)、年末年始
[TEL] 077-521-1013
入館無料